

本年度、本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、次の3点で桜丘小学校へ提言します。

1、「思いやりのある、優しい子供」の育成
2、「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成
3、「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

【備考】
各円グラフ左下の表は、肯定的評価(「とても思う」+「思う」)の推移を示します。

【学校関係者評価委員会】 ◎委員長
◎稲田 正克：地域、元目黒区立小学校長
二川 早苗：元保護者、地域、横浜国立大学後援会会長
元世田谷区立小学校PTA連合協議会会長
松原 信行：元保護者、元PTA会長、同窓会会長
国土館中学・高等学校保護者会役員
船越知佳子：元保護者、元PTA副会長
彦田 勇：新BOP事務局長

◆ 次年度に向けての提言 ◆

平成29年度も「世田谷区教育要領」に基づいた教育課程の編成や質の高い授業を通して、「知・徳・体」の調和のとれた児童を育成することが重要である。そのためには、学校だけでなく、保護者、地域との連携を図り、協力して教育活動を推進していかなければならない。今年度は、学校からの情報発信が充実していたが、地域に対しては更なる改善が求められる。そこで、本委員会は、次の3点の提言を行う。

- 1、「思いやりのある、優しい子供」の育成
- 「他者を大切に」「気持ちのよいあいさつのできる」児童の更なる育成を図るため、全校朝会や学年朝会を通じ、繰り返し指導を継続していただきたい。特に、授業中での助け合いや異学年交流・花の子交流活動での学年に応じた役割を身に付けられるよう指導していただきたい。
 - 「あいさつ」の延長として、「言葉遣い」にも指導を広げ、他者を思いやるあたたかい言葉の涵養を図っていただきたい。このことがいじめの未然防止、早期発見・早期対応にも繋がると考える。
- 2、「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成
- ユニバーサルデザインの視点を中軸にした授業の仕方の工夫を継続発展してさせていただきたい。併せて、全学年が共通して取り組めるような学びや生活のルールを確立し、子供が学習に集中しやすくなったり、学校生活を送りやすくなったりするように環境を整えていただきたい。これらの取組の延長に、子供の学力の向上を期待する。
- 3、「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成
- 睡眠、早寝・早起き・朝ごはんの大切さを学校保健委員会だけでなく、様々な機会を通じて、啓蒙していただきたい。保護者、地域と学校との連携・協力を充実させていきたい。
 - 今年度も行っている「花の子体力づくり」や始業前の校庭遊び奨励など、次年度も発展、充実させていただきたい。

1. 「思いやりのある、優しい子供」の育成

わたしは、あいさつを進んでしている。

H28	85%
H27	69%
H26	70%

回答:児童

2. 「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成

先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している。

H28	81%
H27	74%
H26	73%

回答:児童

3. 「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

わたしは、夜、早く寝るようにしている。

H28	55%
H27	48%
H26	51%

回答:児童

1. 「思いやりのある、優しい子供」の育成

私の子供は、よくあいさつができる。

H28	74%
H27	74%
H26	74%

回答:保護者

2. 「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成

本校では、子供たちにとってわかりやすい授業が行われている。

H28	81%
H27	75%
H26	81%

回答:保護者

3. 「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

わたしは、毎朝、朝食を食べている。

H28	94%
H27	94%
H26	93%

回答:児童

1. 「思いやりのある、優しい子供」の育成

子供たちは、よくあいさつをしている。

H28	42%
H27	57%
H26	48%

回答:地域

2. 「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成

本校では、授業をとおりて子供たちの学力がついている。

H28	76%
H27	71%
H26	73%

回答:保護者

3. 「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

わたしは子供たちに、夜、早く寝るように声をかけている。

H28	92%
H27	68%
H26	92%

回答:保護者

◆児童の自発的な挨拶について、児童自身は85%と高い肯定的評価を示しているのに対して、保護者は74%、地域に至っては、42%と半数にも達しなかった。

◆教員は、毎日輪番で記録している看護日誌の、「子供たちが帽子をとって挨拶している」、「立ち止まって、お辞儀をしてあいさつする児童が目立った」等の記述からもわかるように、子供たちの自発的な挨拶を高く評価している。

◆今年度の学校経営重点目標である「他者(相手)の存在を尊いものと認め、その心(気持ち)を形(態度・行動)として表すことができる児童の育成」の具体的な姿として、「あいさつ」を継続的に取り組んできた成果が、学校内では十分に見られている。しかし、その「あいさつ」の姿が、家庭や地域の中では、発揮されていないと捉えられる。

◆本校を含めた桜丘中学校、笹原小学校で構成される「さくらの学び舎」で平成27年度、28年度と「学び舎で実現するインクルーシブ教育システム～特別支援教育の視点を生かした学習指導で、すべての子供たちの学力を伸ばす～」の合同研究が行われてきた。特に、ユニバーサルデザインの視点で、教室環境や学習環境を整えてきたとの報告を受けている。この研究実践の成果として、
○学習の手立てや学習方法が児童に浸透しやすくなった。
○児童に学習の見通しをもたせやすくなった。
○授業に視覚的な情報をICT機器を活用して積極的に取り入れるようになった。

とのことである。このことが、授業のわかりやすさに関する項目の児童や保護者の肯定的評価の高さにも表れている。

◆上記の成果が更なる学力の向上にも反映されるように期待する。

◆世田谷区教育ビジョン「心と体の元気アップ『世田谷3快プログラム～快眠・快食・快運動』」の下、学校・家庭・地域が協力・連携を図り、健康や食育の指導をとおりて、健康やよりよい食についての知識や食習慣を身に付けさせることを推進してきている。この一環として、講師を招き、5、6年生児童と保護者を対象に、睡眠の重要性を講演していただいた。これらの取組の成果として、食については、児童の毎朝の摂食については、高い肯定的評価が見られ、安定している。しかし、睡眠については、肯定的評価が、児童の半数という状態も続いている。6年生を対象にした文部科学省の全国学力・学習状況調査の中にも睡眠に関する項目があるが、本校の6年生は、全国平均よりも1時間近く就寝時刻が遅くなっている。「快眠・快食・快運動」の継続した指導や啓蒙活動が求められる。

あいさつを進んでしている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
52	33	11	3	2	

私の子供は、よくあいさつができる					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
21	53	20	3	2	

子供たちは、よくあいさつをしている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
10	32	39	7	12	

黒板の書き方やプリントを工夫している					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
52	29	7	4	7	

分かりやすい授業が行われている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
17	64	9	3	7	

授業をとおして学力がついている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
14	62	14	4	6	

夜、早く寝るようにしている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
23	32	21	19	4	

毎朝、朝食を食べている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
85	9	4	1	1	

早く寝るように声をかけている					
とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からない	
49	43	7	1	0	